

# おんどり USB接続データロガー TR-76Ui 機能と仕様

校正  
対象測定項目  
温度・湿度  
CO2濃度データ収集  
USB接続データ閲覧  
ローカルPC警報  
外部警報端子

CO2濃度、温度、湿度の3項目を同時に測定、記録できるデータロガーです。気圧で生じる誤差を補正する機能を搭載し、安定した測定を実現します。記録データはUSB接続でパソコンに吸い上げ、ソフトウェアで3項目同時にグラフ表示、データ一覧表示が可能です。

## 1台でCO2濃度、温度、湿度を測定・記録

CO2センサ内蔵。3項目を同時に測定記録するデータロガー。

## 各チャンネル8000データの大容量

8000データ×3チャンネルの測定値を記録。

## グラフ表示は1つの画面に

ソフトウェアで3つの測定項目を1つの画面にグラフ表示、一覧表示。印刷・テキスト（CSV）形式への出力も簡単。

## 気圧による誤差を補正

計測する地域の標高から基準となる気圧を算出しておくことで、気圧により生じる測定値の誤差を補正。

## 接点出力で警報監視

設定した上下限值を超えたときに警報用の接点を出力。喚起装置や警報装置と連動して使用が可能。

※適合コネクタ (PAP-04V-S : J.S.T 社製) に配線した外部警報接続ケーブル AC0101を別途販売しております。

## USBでパソコンに直接接続

設定やデータ吸い上げはパソコンから。接続したTR-76Uiの現在値をパソコン画面に表示するモニタ機能も。

## 本体ボタンによる操作

記録開始/停止、記録間隔の設定変更、画面の表示切り替えは本体のボタンで操作可能。

## Sタイプで高精度、広範囲の温湿度測定

Sタイプの付属センサは±2.5%RHの高精度測定を実現。測定範囲は温度-25～70℃、湿度0～99%RH。

# TR-76Ui USB接続データロガー CO2・温度・湿度

	TR-76Ui		TR-76Ui-S	
	<b>CO2センサ (内蔵)</b>			
測定チャンネル	CO2濃度 1ch			
CO2センサ(内蔵)	NDIR方式			
測定範囲	0~9,999ppm			
精度	±(50ppm + 読み値の5%) at 5,000ppm以下 (*1)			
測定分解能	最小 1ppm			
応答性	90%応答 約1分			
	<b>温湿度センサ</b>			
測定チャンネル	温度 1ch	湿度 1ch	温度 1ch	湿度 1ch
センサ	THA-3001		SHA-3151 高精度タイプ	
	サーミスタ	高分子膜抵抗式	サーミスタ	高分子膜抵抗式
測定範囲	0~55°C	10~95%RH	-25~70°C	0~99%RH (*2)
精度	±0.5°C	±5%RH at 25°C, 50%RH	±0.3°C at 10~40°C ±0.5°C at それ以外	±2.5 %RH at 15~35°C, 30~80%RH
測定分解能	0.1°C	1%RH	0.1°C	0.1%RH
応答性	90%応答:約7分		90%応答:約7分	
データ記録容量	8,000個×3 ch			
記録間隔	1, 2, 5, 10, 15, 20, 30 秒, 1, 2, 5, 10, 15, 20, 30, 60 分の15通り			
記録モード	エンドレス：記録容量がいっぱいになると先頭のデータに上書きして記録 ワンタイム：記録容量がいっぱいになると記録を停止			
液晶表示	測定値, 記録状態, 記録モード, 電池残量, その他 測定値：CO2濃度, 温度または湿度 (交互表示 / 固定表示)			
通信インターフェース	USB通信：USB 2.0 (Mini-Bコネクタ) シリアル通信 (*3)			
外部警報端子 (*4)	出力端子：オープンドレイン出力 OFF時の電圧DC30V以下, ON電流0.1A以下, ON抵抗15 Ω			
電源	ACアダプタ AD-06A1, 単3アルカリ電池×4			
電池寿命	約2日間 (AC電源なしの場合) (*5)			
本体寸法	H 96mm×W 66mm×D 46mm (突起部, 温湿度センサ含まず)			
本体質量	約120g			
本体動作環境	温度 0~45°C 湿度 90%RH以下 (結露しないこと)			
付属品	単3アルカリ電池×4, ACアダプタ AD-06A1, USB Mini-B 通信ケーブル US-15C, 温湿度センサ THA-3001またはSHA-3151, 保証書付取扱説明書 一式			

\*1: オートキャリブレーションが正常に動作している場合です。気圧によって誤差が生じるので、気圧が10 hPa下がるごとにCO2濃度の測定値も1.6%下がります。CO2 Recorder for Windowsから気圧補正をおすすめします。

\*2: 60°C以上の環境では湿度の経年変化が大きくなる場合があります。また、-20°C以下の環境では湿度の測定はできません。

\*3: 別途公開の通信プロトコルを使用し、お客様ご自身でソフトウェアを作成していただければシリアル通信が可能となります。その場合、オプションのシリアル通信ケーブル(TR-07C)が必要です。

\*4: 外部警報端子を使用する場合は、オプションの外部警報接続ケーブル(AC0101)をお求めください。

\*5: 電池寿命は周辺温度、記録間隔、通信回数、電池性能などにより異なります。記載内容は新しい電池を使用したときの標準的な期間です。

上記仕様は予告なく変更することがあります。